

常盤塾

日時：2016年5月14日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 東野祐香里（前半）、三藤剛照（後半）

メンバー：

アジェンダ

- （1）1分間スピーチ
- （2）常盤さんのお話
- （3）『社会的共通資本』後半（宇沢弘文） 発表者：古川さん

- （1）1分間スピーチ

今田さん

単位のお話 航海 月による判断

安梅さん

みらいエンパワメントカフェ 保育パワーアップ研究会は20年

皆様是非ご参加を！

常盤さん

木の剪定 全体を見る人と部分を見る人 枝の1本1本、全体の風通しはどうか
組織にも剪定が必要、マネジメントの本質は剪定

松山さん

NHK『奇跡の大集落』 今まで常識だと思っていたことが非常識だった

文明…農耕があるから定住する、という一般概念

三内丸山遺跡…ドングリを植林、1万年以上の文化 持続的に自然を利用

古川さん

パペット落語 古典落語とパントマイム

古典落語とパペット落語の組み合わせ 東京と大阪の組み合わせ 新しいもの

古城さん

退職して住所固定無職…

名刺に書くなら無印良人？浪人？

出井さん

お子さんがパンダ組

パンダ…和歌山が頭数最多 10頭中7頭和歌山、2頭東京、1頭兵庫

アメリカ…12頭 意外なところで中国とのつながり

中国からレンタル、子どもが生まれても中国のパンダ扱い

臼井さん

おばさまが 10 時間以上の手術成功 人は人と人をつなげることに喜びを感じる

「ありがとう」の言葉 人生はそこに生きがい、心が広がる

松崎さん

禅を形に 五山から外されると五山と戦う cf. 与党 vs 野党

禅の世界でも今のような争い 豪徳寺

上原さん

インドネシアの地方都市マラン（スラバヤの南）

電機メーカーと農業用ロボットについて考える

インドネシアも日本のような小規模農業 cf. アメリカ、中国は大規模農業

どういう条件だとよいのか いくら働いても豊かになれない構造

コモンズがいまいちピンと来ない、日本が成功したならばそれは何故？

儲かってないとロボットは買えない、先の話

大下さん

縄文の火山 縄文コンサルタント（30 年前）

経営はわからないから縄文 1 万年前も 30 年前も縄文

昭和 30 年頃の話から進歩無し 農学、科学 火山の影響で酸性の土壌

東野

社会人になると自分のことで精いっぱいになってしまうのか

身内のことでも気が回らなくなる

来年就職するが、親のことを考えて生活することを心がけたい

片平先生

エディ・ジョーンズ 日本代表の監督

「どうして強い」「いい選手を選ぶ事、どう勝っていきたいかを共有する」

…人の選定、ビジョン ゼミも同じ、初めから変な学生を選ぶ

組織や文化は変えられると言うが、そもそものメンバーをどう選ぶかで決まる

丸山さん

人間は野生的に暮らすように設計されている

ジムの運動…運動のファーストフード

欧米は靴の文化、日本は素足の文化

常盤塾は「大自然を学べ」という素足の文化

三藤

プログラミングの教育義務化

数学、算数と同様、最初の部分が難しい 頭の使いかたなど

これからの需要ととっかかりの難しさ、慣れを考えると義務化も重要かもしれない

(2) 常盤さんのお話

既存の命題から論理的に正解を導く 演繹と機能

イノベーションは演繹からは出てこない 同一性と異質性

異質性を入れるためには…同じ帰納のアプローチはとるが、従来と違うものと仮定する

同質でないものを集めてきて作業する必要

仮説をもとに従来でない発想で帰納する 違った色々な要素をどうするか

帰納と演繹を行き来しながら仮説を検証 3つのアプローチ

abduction のアプローチが大切なのではないか

leap : 夢を持って新たなものに取り組む、飛び上がったところに新しい世界を見出す

目指すものとの間に思いを乗せないと飛び上がらないのではないか

次元の違うところに1段上がっていく発想で物事を考える

猟奇的飛躍が異質性を作るわけではない

個と全体の対話、やりとりの中で個をつなぐ 個人と組織の対話の場が必要

全体の中の個の位置 個と全体の関係を積み重ねる

帰納と演繹の行き来 仮定推論法

部分と全体のやりとり メタファー

メタファーを作るために、パターン認識 パターンが出ないと個と全体が繋がらない

同法自然…自然を模範とする

江雷：自然界の植物、動物に着目 「すごい」で終わらずにもっと先に進んでほしい

基本的なスタンスを持っていなければ小説は書けない

アメンボは生活の中で身近だけれども不思議な動物

足の先に細かい毛が生えている 0.2 ミクロ

昆虫などはローテクではなくハイテク、もっと自然から学ぶ

自然への関心、自然への畏敬の念が技術を開発することになる

植物にも知性がある 感覚と認識は別のプロセス

人間は五感、植物は二十感 第六感…五感を超えた感覚があると信じている人

植物、動物が持っている認識を人間ができるようになったら世界が変わる

ユーグレナ…全栄養素をカバー

Cf. ミドリムシ 動物か植物かわからないものが増えていく メカニズムを研究

理想のモデル…地球、宇宙

自然に対する畏敬、畏怖の念 自然と対峙する 謙虚さが無くなるのは怖い

片平先生 宇沢さん 「I love the nature.」

上原さん 未来がこうなったらよいという考え方

想像する 街並みから変わってくる 人を動かす力

常盤さん メタファーでイメージ
プラットフォームができると皆動き出すのでは
バックミラーを見ながら運転しているようなもの、前を向いて運転する
景色から知らなかった情報を獲得

安梅さん ブランコに乗って空の写真を撮る子供たち
大人だったらブランコ自体を撮る

常盤さん メディアを提供する

片平先生 89〜91年あたりで教育を変えていけば面白い学生が育ったのではないか
教育の方法を変えると社会が変わる

常盤さん 土台になるのは自然

片平先生 写生 自分で見て議論するイギリスの教育

常盤さん すでにある情報をどこかから持ってきて並べる…全く新しさが無い
生きている情報は対象から跳ね返ってくる情報
自分が言い続けることが大切

(3) 宇沢弘文『社会的共通資本』（発表者：古川さん）

(発表資料参照)

- 丸山さん：Mook とは (massive open online course)
- 常盤さん：このシステムで欠けているものは何かという部分を議論できれば変わっていく。
- 古川さん：
- 安梅さん：
- 常盤さん：現実との境がなくなってくると本人の罪の意識が無くなっていく。AI や他のものでも大いに進んでいっていいと思うけど、必ず陽と陰があるのでその部分を議論することが必要
- 上原さん：例えば川に手を突っ込むという映像を見せても、冷たいという経験がそれまでにある必要がある。このようなものが普及するにつれてさらに実際に経験することの重要性が増しそう。
- 古川さん：デューイは経験からしか学べないと言っている。

(発表に戻る)

- 常盤さん：古典派と新古典派についてはどうということ？
- 松崎さん：限界というコンセプトが入っているかどうか。
- 古川さん：(書籍参照)新古典派は数学的に洗練されている。
(古典派と新古典派についての議論)
- 松崎さん：1900年くらいから新古典派が台頭していた。戦争や恐慌が起こった。

- 常盤さん：イギリスは所有は国という制度になっていった。